

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミⅡ	チーム名	稲田塾
タイトル	Can Woman Save Kansai? Yes!		
テーマ群	g)その他		
メンバー	中川恭輔 西浦愛実 上原彩 高瀬峻馬 木村拓夢 梅木勇樹 佐賀大和 丸田智佳、森茜音、泉谷晟哉		
研究計画内容	<p>私たち稲田ゼミナールでは主に関西経済について研究をしています。関西の経済規模は約 80 兆円で全国の 16%を占め、地域別にみると関東に次いで二番目の経済規模になります。しかしここ数年では関西の経済がどんどん衰退し、関東との差が徐々に大きくなっている現状です。</p> <p>ここで私たちが注目した一つの大きな要因としては、関西から関東へと人口が流出してしまい働き手が少なくなってしまうということと、関西にあった企業の本社も続々と関東へ拠点を移してしまい、関西から働く場所がどんどん奪われてしまっていることです。</p> <p>そこで私たちは関西経済を持ち直すために、どうすれば労働人口が増えるのか、どうすれば関西経済は再び復興するのか、考えた結果着目したのが女性の労働です。関西は全国と比べても女性の就業率が低く、京都府、滋賀県は全国平均を上回っていますが、それ以外の和歌山県、兵庫県、大阪府、奈良県は全国平均を下回っています。特に奈良県では全国で女性の就業率が最下位という結果も出ています。</p> <p>関西がなぜここまで女性の就業率が低いのか、それは女性が働くための設備、環境が整っていないということが一つの大きな原因となっています。私たちは関西の女性が活躍することによって、どのような経済効果があるか、また、関西の女性が働いてもらうために、各都道府県がどのような取り組みをしているのかを調査し、本当に女性は関西経済を救うための救世主になれるかどうかをこのインナーゼミナール大会で発表させていただきます。</p>		